

ヤクルトのSDGsアクション

ヤクルトはSDGsの達成に貢献するために、事業を通じてさまざまなアクションを実行しています。

SDGs(持続可能な開発目標)とヤクルトの取り組み

今、地球は経済や社会、環境の面でさまざまな課題を抱えています。

現在のまま人口の増加や消費が進むと、2030年には地球が2つ必要になるといわれているほどです。

そんな中、2015年に国連サミットで採択されたのが、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)。世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットが定められており、「誰一人取り残さない」ことを誓うものです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



新人ヤクルトレディ
康子さん

SDGsって、とっても大きな目標ばかり・・・
政府とか国際的な組織が意識することみたいに感じるけど・・・。

実は、**民間企業による積極的な取り組み**も求めているのが
SDGsの重要なポイントです。そして、個人一人ひとりの意識変革も必要。
政府、企業、個人が協力して達成する目標と考えてください。

CSR推進室
健太郎さん

なるほど～。私もヤクルトの従事者として、一個人として、
意識する必要があるんですね。
ヤクルトは17の目標すべての達成に貢献しているんですか？

ヤクルトの企業活動は、17目標すべての達成に関わりますが、
特に関連が深く、達成に貢献できると考える目標は以下の5つ。
次のページで、具体的なアクションを紹介しています！

特にヤクルトグループと関係が深い目標 **3 5 8 12 13**

私に関連するアクションもありますね。急に身近に感じてきました。
ヤクルトにはいろいろな事業があって、たくさんの人が働いているけど、
みんなSDGsを意識しているんですか？

ヤクルトは「**CSR行動計画**」で
さまざまなCSRの目標と実績を管理していますが、
そこにSDGsの要素も取り込まれています。
また、SDGsのキャンペーンを実施して、
グループ全体でSDGsの達成に貢献できるよう取り組んでいます。



こんなアクションで SDGsの達成に貢献しています！



アクションその① 「出前授業」と「健康教室」で健康で楽しい生活を応援

貢献するSDGs



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

従事者が小学校などに出向き、腸の大切さや「いいうんち」を出すための生活習慣について、模型などを活用して、わかりやすく説明する「出前授業」を行っています。

大人向けには、各地域の販売会社の従事者等が講師となり、センター(ヤクルトレディの販売拠点)や公共施設等を利用して、腸の大切さやプロバイオティクス、季節に流行する疾患等、幅広いテーマで「健康教室」を開催しています。

「ヤクルト中央研究所でおなか研究員になろう!」を開催 (2019年8月)

科学への関心を高め、代田イズムを継承するヤクルトの研究活動を知っていただくことを目的に開催し、小学5・6年生と保護者総勢53名が来場しました。腸内細菌やプロバイオティクスについてクイズ形式で講義した後、代田記念館の見学と研究員体験として本格的な器具を使用して実験を行いました。また、JAXAとの共同研究や乳酸菌 シロタ株のストレス緩和作用も紹介し、楽しみながら学んでいただきました。

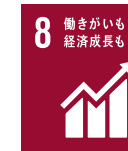


アクションその② 世界各地で活躍するヤクルトレディ

貢献するSDGs



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

ヤクルトといえば、商品を自宅や勤務先に届けてくれる「ヤクルトレディ」。1963年にスタートしたこの独自のシステムは、海外にも広がり、事業を拡大する大きな原動力になっています。

女性の社会進出が進んでいない地域においても、きめ細かなフォローで就労を後押し。各地で、イキイキと働くヤクルトレディの姿が見られます。



ヤクルトレディとお客さま(中国ヤクルト)

アクションその③ プラスチック資源循環に向けた容器包装の工夫

貢献するSDGs



持続可能な消費と生産のパターンを確保する

海洋プラスチックごみ、温暖化、資源の枯渇などが世界的な問題になっています。そこでヤクルトでは、プラスチック容器包装の資源循環を推進する取り組みを行っています。

2019年1月には、「プラスチック資源循環アクション宣言」を発表。2025年までに、環境に配慮した容器包装の基礎技術を確立して資源循環しやすい素材への置き換えに着手し、2030年までに、最大限の置き換えを図ることを目指しています。



ストロー貼付を廃止した商品
(左)日本: Newヤクルト10本パック
(右)マレーシア: ヤクルトエース

アクションその④ 生産におけるCO₂と水使用量の削減を推進、太陽光発電も

貢献するSDGs



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

本社工場やボトリング会社では、環境に配慮した設備の導入や、照明のLED化、効率の良い生産などでCO₂削減を推進しています。

水の循環利用、運用見直しなどで水使用量を削減し、徹底した排水管理で河川への影響を最小限にしています。クリーンで再生可能なエネルギーである太陽光発電も取り入れています。

関連情報 P.15-16 特集3 環境 水資源の保全



太陽光パネルの設置(岡山和気ヤクルト工場)